安全データシート

作成日　2004年09月16日
改訂日　2014年07月09日

製 品 名：Nickel ICP standard traceable to SRM from NIST $Ni(NO_3)_2$ in HNO_3 2-3% 10000 mg/l Ni CertiPUR®

１．化学品及び会社情報

製品番号　：170382
製　品　名　：Nickel ICP standard traceable to SRM from NIST $Ni(NO_3)_2$ in HNO_3 2-3% 10000 mg/l Ni CertiPUR®
製品和名　：ニッケル ICP標準溶液 NISTのSRMにトレーサブル, [Ni(NO3)2 in HNO3 2-3%], 10000 mg/l Ni サーティピュア
会　社　名　：メルク株式会社
住　所　：東京都目黒区下目黒1−8−1　アルコタワー
製品取扱部門　：メルクミリポア事業本部
MSDS発行部門　：EQJ部 EHSグループ
電話番号　：03-5434-5267
ＦＡＸ番号　：03-5434-5391
製　造　元　：Merck KGaA

２．危険有害性の要約

GHS 分類

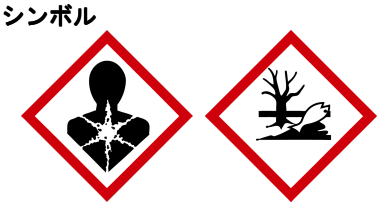
健康に対する有害性

皮膚腐食性/刺激性	:	区分2
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	:	区分2
呼吸器感作性	:	区分1
皮膚感作性	:	区分1
生殖細胞変異原性	:	区分2
発がん性	:	区分1A
生殖毒性	:	区分1B
特定標的臓器毒性（反復暴露）	:	区分1

環境に対する有害性

水生環境有害性（慢性）	:	区分2

シンボル



注意喚起語　危険

危険有害性情報

H315　皮膚刺激
H317　アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
H319　強い眼刺激
H334　吸入するとアレルギー、ぜん息又は呼吸困難を起こすおそれ
H341　遺伝性疾患のおそれの疑い
H350　発がんのおそれ
H360　生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
H372　長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害
H411　長期継続的影響によって水生生物に毒性

注意書き

P201　使用前に取扱説明書を入手すること。
P273　環境への放出を避けること。
P280　保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
P301+P310　飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。
P302+P352　皮膚に付着した場合：多量の水と石けんで洗うこと。
P304+P341　吸入した場合：呼吸が困難な場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
P342+P311　呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること。
P305+P351　眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。

P338　コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

３．組成及び成分情報

単一物・混合物の区別　：　混合物

化学名又は一般名	含有率	化学式	官報公示整理番号（化審法）	官報公示整理番号（安衛法）	ＣＡＳ番号	ＥＣ番号
硝酸	2.3%	HNO_3	(1)-394	公表	7697-37-2	231-714-2
硝酸ニッケル(II)	3.0%	$Ni(NO_3)_2$	(1)-485	公表	13138-45-9	236-068-5

４．応急措置

吸入した場合：
直ちに空気の新鮮な場所に移動させる。
医師の診察を受ける。

皮膚に付着した場合：
多量の水で洗い流す。
汚染された衣服は直ちに脱ぎ捨てる。
医師の診察を受ける。

眼に入った場合：
多量の水で瞼を開けたまま、よく洗浄する。
眼科医の診察を受ける。

飲み込んだ場合：
直ちに水(最大コップ2杯)を飲ませる。
医師の診察を受ける。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状：
ニッケル化合物は一般に、粘膜収斂のおそれがあり、人によってはアレルギー反応を示す。場合によってはニッケル皮膚炎をおこす。発がん性は、水への溶解性によって異なる。
亜硝酸塩/硝酸塩は一般に、大量に摂取した場合、メトヘモグロビン血症をおこす。
刺激作用、アレルギー反応

医師に対する特別な注意事項：
情報なし

５．火災時の措置

消火剤：
周辺の貯蔵品に適用される消火剤

不適な消火剤：
特になし

特有の危険有害性：
不燃性
火災時に有害な蒸気を発生する。

消火を行う者の保護：
適切な保護具を着用し、安全な場所から消火活動を行う。

その他：
消火に用いた排水による、河川や地下水の汚染を防ぐ。

６．漏出時の措置

人体に対する注意事項：
蒸気を吸い込まないように注意する。
漏出物との接触を避ける。
適切に換気すること。
作業の際には保護具を着用すること。

環境に対する注意事項：
下水施設に流してはならない。

回収・中和等：
排水口をふさぎ、飛散した漏出物は集め、ポンプで回収する。
吸収剤に吸着させて、適切な廃棄処理を行う。
漏出箇所はきれいに清掃する。

その他：
廃棄物の処理については第13項を参照のこと。

７．取扱い及び保管上の注意

取扱い：
密閉化した設備または局所排気を用いる。
吸い込んだり眼や皮膚および衣類に触れないように、適切な保護具を着用する。
漏れ、あふれ、飛散しないようにし、みだりに蒸気を発生させない。
容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずる等、粗暴な取扱をしない。

衛生対策：
Sec.8　ばく露防止措置の衛生対策　参照のこと。

保管：
容器は気密性を保つ。
換気のよい場所に保管する。
常温(15～25℃)で保管する。

８．ばく露防止及び保護措置

ばく露防止措置：

設備対策：
取扱い場所の近くに、緊急時に洗眼、身体洗浄を行う設備を設置する。
関係法規に従い、十分な設備対策を行う。

衛生対策：
適切な保護具を着用し、安全に取り扱うこと。
作業終了後は手洗い、洗顔を充分に行い、作業衣等に付着した場合は着替える。
皮膚保護の為の処置を講ずること。

保護具：

保護眼鏡：
保護メガネを使用する。

保護手袋：
保護手袋を使用する。

呼吸用保護具：
蒸気発生の場合は、呼吸保護具を使用する。

環境に対する注意事項：
下水施設に流してはならない。

その他：
保護具は、作業場所、有害物の使用量や濃度に応じて選択すること。

９．物理的及び化学的性質

形　　状	：	液体
色	：	緑色
臭　　い	：	無臭
密　　度	：	1.036g/cm^3 (20℃)
ｐＨ	：	ca.0 (20℃)
蒸 気 圧	：	データなし
沸　　点	：	データなし
引 火 点	：	適用外
自然発火点	：	データなし
爆 発 限 界	：	下限　適用外 上限　適用外
溶 解 性	：	水に溶ける。

１０．安定性及び反応性

安定性：
通常の取扱い条件下では安定である。

危険有害反応可能性：
反応するおそれ:
金属、強アルカリ

避けるべき条件：
熱

混触危険物質：
金属, 金属合金

危険有害な分解生成物：
データなし

１１．有害性情報

急性毒性：

経口：
LD50(oral/rat)　：　1620mg/Kg　(RTECS) 硝酸ニッケル(II) 六水和物
LDLo(oral/human)　：　430mg/Kg　(IUCLID) 硝酸
口腔、咽頭、食道、胃腸粘膜を刺激する。

吸入：
LC50(inh./rat)　：　28mg/l　(4h) (IUCLID) 硝酸
粘膜を刺激するおそれがある。

経皮：
データなし

皮膚刺激性：
刺激する。

眼刺激性：
激しく刺激する。

感作性：
皮膚アレルギー反応のおそれがある。
吸入すると、アレルギー、ぜんそく、呼吸困難をおこすおそれがある。

生殖細胞変異原性：
遺伝子異常のおそれがある。
AMES試験：陰性
　硝酸ニッケル(II)
AMES試験：陰性　　ネズミチフス菌を用いた試験
　硝酸

発がん性：
吸入により、発がんのおそれがある。

生殖毒性：
胎児に悪影響を及ぼすおそれがある。

特定標的臓器毒性-単回ばく露：
データなし

特定標的臓器毒性-反復ばく露：
長期または継続摂取により、臓器を損傷するおそれがある。

吸引性呼吸器有害性：
データなし

追加情報：
毒性に関する量的なデータはない。
ニッケル化合物は一般に、粘膜収斂のおそれがあり、人によってはアレルギー反応を示す。場合によってはニッケル皮膚炎をおこす。発がん性は、水への溶解性によって異なる。
亜硝酸塩/硝酸塩は一般に、大量に摂取した場合、メトヘモグロビン血症をおこす。
この他の有害性を否定することはできないが、それらを予測評価するための充分な知見はない。
適切な安全衛生規定に従って取扱うこと。

１２．環境影響情報

生態毒性：
LC50　10.6 mg/l (96h) (ECOTOX Database)
　コイ (硝酸ニッケル(II))
EC50　0.9 mg/l (48h) (ECOTOX Database)
　ミジンコ (硝酸ニッケル(II))
LC50　72 mg/l (96h) (IUCLID)
　カダヤシ (硝酸)

残留性・分解性：
データなし

生体蓄積性：
データなし

移動性：
データなし

PBTアセスメント：
化学的安全評価が不要または実施されていないため、PBT/vPvB 評価データはない。

その他：
自然水、下水、土壌の汚染を避ける。

１３．廃棄上の注意

残余廃棄物：
関連法規及び市区町村条例等に従い、産業廃棄物として廃棄すること。

容器包装：
空容器には残余物がないようにし、関連法規及び市区町村条例等に従って適切に廃棄すること。

１４．輸送上の注意

国連番号 ： 3264
品名　　： CORROSIVE LIQUID, ACIDIC, INORGANIC, N.O.S.
クラス　： 8/III

安全対策：
運送に際して漏れのないことを確かめ、直射日光を避け、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

１５．適用法令

硝酸
労働安全衛生法第57条の2：通知対象物質
労働安全衛生法特化則：第3類物質

硝酸ニッケル(II)
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)：特定第1種指定化学物質　政令番号：309
労働安全衛生法第57条の2：通知対象物質
労働安全衛生法第57条：表示対象物質
労働安全衛生法特化則：第2類物質

１６．その他の情報

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、含有量、物質化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象にしたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい